

会 議 報 告

会 議 名	公共交通（タクシー利用補助）実証実験の実施に向けた意見交換会
日 時	令和元年5月20日（月）午後7時00分から午後7時30分まで
会 場	深沢会館
出 席 者	深沢区域にお住まいの方20人（男性9人、女性11人） 企画政策部企画政策課 吉岡課長、小川主査、内木 （株）サンビーム 平塚氏、渋谷氏
内 容	<p>1 開会 事務局自己紹介</p> <p>2 挨拶（企画政策課長、深沢自治会長）</p> <p>3 実証実験概要案の説明 別紙資料を基に説明</p> <p>4 質疑応答 ※別紙のとおり 質疑応答後、補足</p> <ul style="list-style-type: none">・今回は、あくまでも実証実験としての実施であるため、地域の皆様には、どのくらい利用いただいたか、どこまでの移動に利用いただいたか等、データを取り、効果を検証しなければならないので、アンケート調査等ご協力いただければと考えている。・検証期間の確保も含め、本格実施がいつになるかは、今の時点ではっきりと申し上げることはできないが、タクシー利用補助という制度が有効かをどうか確認させていただくための実験であると認識いただき、ご協力をお願いしたい。 <p>5 今後の予定を説明)</p> <ul style="list-style-type: none">・本日未回答のものは、協議の上、後日回答する。・意見交換の内容を踏まえ、市で詳細な実証実験計画（案）を作成し、公共交通検討委員会や、市の理事者、タクシー事業者などと確認・調整を進める。・実証実験の計画（案）が完成したら、自治会の回覧で報告をさせていただく。 ※概要案から大きな変更が生じた場合は、別途、説明の機会を設ける。 <p>6 閉会</p>

	地域の方からの質問内容	回答／対応
1	家から駅までが4 km近くあるので、月2回までの利用になったとしても、1回につき2枚使わせてもらえる方が利用価値があると思うし、使いやすいと思うので、検討してほしい。	持ち帰り、検討する。 ①公共交通の利用促進 ②乗合の促進 ③1回につき上限1枚というパターンの検証という目的の下、実施したいため、1回1枚の上限は変えないこととしたい。
2	途中で止まる(別の方の家を経由しながら走行する)ことは可能か。	想定される利用パターンとしてタクシー事業者と調整している。(念のため改めてタクシー事業者を確認することとする) ⇒可能である。(5/23 タクシー事業者を確認)
3	タクシー券の利用は、行先が武蔵五日市駅でなく、阿伎留利用センターなど、病院に直接行く際にも利用できるか。	深沢区域内を出発地点又は到着地とする移動であれば、行先が武蔵五日市駅でなくても利用できる。
4	タクシー券は、毎月4枚配布されるのか、まとめて24枚配布されるのか。1人が何枚使ったか、どのように把握するのか。	まとめて24枚の配布を予定している。券にナンバリングをして利用状況を把握する。また、タクシー事業者の協力を得て、券がどこからどこまでの移動に利用されたかも把握したいと考えている。
5	深沢区域の奥の方に住んでいる人の利用を想定すると、駅まで1,500円以上掛かると思うので、1回の補助額が500円という計算根拠であると、足りないのではないか。	10月に初乗り運賃が500円に改定されること、他の福祉施策における移動支援補助額との整合性、すでに他自治体で実施されているタクシー券事業の補助率等を考慮し、額面を500円とした。また、複数の対象者の方で乗り合わせをしていただくことで、負担を減らすことができるので、乗合いで利用していただくことが理想と考えている。 また、昨年度のアンケート結果から、希望補助額の平均が約600円(660円)であったことも設定基準の1つとなっている。
6	指定のタクシー事業者のタクシーの移動範囲は。例えば、立川、都心部までには及んでいないと思う。タクシー事業者によって、運行範囲が決まっているのか。例えば、都心から乗って帰ってきた際にも、利用して良いのか。	実証実験に協力いただくタクシー事業者は市内もしくは近隣に事業所を持つ事業者を予定している。大きな会社であっても、青梅、福生など近隣の営業所との契約を想定しており、事業所から配車されるもの、あるいは、武蔵五日市駅など、市内の駅から迎車対応してもらえる範囲での移動に使っていただくことを想定している。 実証実験は市内又は近隣のタクシー事業者の協力があって実施できるものなので、ぜひ、地元の事業者を利用させていただきたい。

	地域の方からの質問内容	回答／対応
7	一般のタクシーを、特別な許可なく、乗合いで利用して良いのか。	同じ方面を目的地とする知り合いの方同士での乗合いは、タクシーの通常の利用の範囲内として可能。 公共交通には、二酸化炭素排出量の削減など、環境負荷を減らすという目的もある。同じ方面に行く方同士で一緒に乗っていただくことが、環境負荷の低減にもつながることから、今回の実証実験においては、乗合いでも利用できる方法を考えた次第である。
8	家族に譲っても良いか。 利用しなかった券はどうなるのか。	本補助は、対象者となる方にタクシー券という形で市が「補助金」をお渡しするイメージであり、税金を用いて支出する「補助金」を他の方に譲渡することは難しい。また、譲渡可とした場合、譲り受けることができた人とそうでない人で不公平が生じてしまうため、公平性の観点からも、譲渡は難しいと考えるのでご理解いただきたい。 利用しなかった券は廃棄してもらうこととなる。
9	タクシー券の利用期間は。	実証実験の実施期間内（6か月）を予定している。
10	対象者と対象者でない人との乗り合わせの場合もタクシー券を利用できるか。	対象外の方が一緒に乗っていても、対象者がいれば、対象者1人につき1回1枚を利用できる。対象外の方が券を利用することはできないが、一緒に乗っていただくことは問題ない。 ※65歳以上の方が1人でも乗ってれば、券が利用できる。
11	乗合いで利用したときに、同乗者の行先がそれぞれ異なった場合、どのように費用負担することになるのか。	同乗者の方同士でうまく調整いただければと思う。 (別の参加者の方から「当事者同士で調整すれば良い。」との意見あり)
12	(参加者から参加者への投げかけ) 現状、すぐにでも使いたい人はどのくらいいるか。	「来週病院に行く予定があるので、使う機会はある。」との発言あり。
13	券は、自分で運転できる人も含めて、全員に配布されるのか。	65歳以上の方全員に配布を考えている。